

令和 5 年度使用教科書選定理由書

教科		選 定 理 由
各学科に共通する教科（共通教科）	国語	程度が本校生徒の実態に即しており、生徒にとって読みやすいものになっている。
	地理歴史	内容が教科の目標に適合しており、系統的で配列や関連付けも適切である。また生徒の実態に即しており、読みやすいものになっている。
	公民	程度が生徒の実態に即しており、生徒にとって読みやすいものになっている。
	数学	内容が系統的であり配列や関連付けも適切であり生徒の実態に即している。また教科・科目の目標に適合しており、生徒にとって読みやすいものになっている。
	理科	程度が生徒の実態に即し適当であり、本文、図表、表現等が正確で見やすい。また内容が教科・科目の目標に適している。
	保健体育	内容が教科の目標に適合し、程度が生徒の実態に即し適当である。
	芸術	内容が生徒にとって読みやすいものになっており、教科・科目の目標に適合している。
	外国語	内容が系統的であり生徒にとって読みやすく興味のもてるものになっている。また、教科の目標を達成するよう、適切な創意・工夫がなされている。
	家庭	程度が生徒の実態に即しており、教科の目標を達成するよう適切な創意・工夫がなされている。
	情報	内容が系統的であり、配列や関連付けも適切である。また、本文、図表、表現等が正確である。
	理数	
主として専門学科において開設される教科（専門教科）	農業	
	工業	
	商業	程度が生徒の実態に即しており、内容が教科・科目の目標に適している。
	水産	
	家庭	
	看護	
	情報	
	福祉	